

敵討嫁威谷傳

十大尾

遠近
1297
10



新討堀威之傳

卷之十

山田友重の義死し事

并 井川市之店と討事

山田友重の義死し事
井川市之店と討事
堀威之傳
卷之十

おのいりる父のりこをさるる所らに家
家名を印しくしこを改まぬかし
父を教善しきる登成
我く印雅くそを陽と遊しハ
父のしごい父母の仇ハ恨み天を
うぶらのおしりもバ控むつこり何ん
と伯父は右を右のしけりし
ありちをさるるしけりしんはき

おれは中をさるとはなぐし何ん
はいしゆと移しゆくをん部一
くもむんしんしんをさるるもの
は中らうそをさるる人しんは
さもつらもあつてはを教ふし
しりり志し母の仇を討はんハ
是をさるるしんはかきし
執権者白ちをさるるに
もゆき智

後とてふらんをさへいひしやしくし
此等とてふらんをさへいひしやしくし
形くりしをさへいひしやしくし
古作を工更けりしやしくし
うまの治義をさへいひしやしくし
と登城改めのか改めをさへいひしやしくし
ともいふとてふらんをさへいひしやしくし
とてふらんをさへいひしやしくし

是よりいひしやしくし
と登城改めのか改めをさへいひしやしくし
ちさの收びて挿をさへいひしやしくし
このまゝをさへいひしやしくし
と名をさへいひしやしくし
いさハのあまぬをさへいひしやしくし
後力やしく挿をさへいひしやしくし
とてふらんをさへいひしやしくし

城のしらとりありやむと括りしもの
うき館をわびきくしと望こきあて
御お福井の所へ出浮る角なりとも
名系りて来術の所へ把として
言し居るの事候えりしと望合
りて年候好年合しと望きあり
松しりきこいしと望んく候は事
ハ安きことと代候きハ着り候

福あもむつしと望り候は事
神九子候所んと古候き候は事
ハと候くお候しと望き候は事
さしと井の古き事候の門候は事
皆候古きと望しと望き候は事
あれ候しと望しと望き候は事
ハ角なり候の事候は事候は事
と望しと望しと望しと望しと望し

のこころえなるほどし 雲霧のうらむと結
まけきりし 軒うきとひらきも用
なきとあ—— 雲霧のうらや—— 遠入
やいふや—— とくえあがたさゆさぎ
見事ア—— ことくいなる事
お名いお川市—— 先年 塚お——
谷の山中—— 不義をいひうら母を
教善—— ことくいなる事 輝

長城をそ帯 日古をたあうら母の歎
のこころぬお 親念も—— ちちうら
浩しけりなる事 ちちうらまきき
え—— 今くまうのわがく 柳うら——
とさあ—— ちちうら—— ちちうら
こと白服ん—— ちちうら—— のちちうら
け度石筋—— ちちうら—— 柳うら
のこころえなるほどし 雲霧のうらむと結

4年7月



と
き

新討家威公台傳 卷之十大尾



